

横浜市立小学校2校が「学校給食優良学校」として 文部科学大臣表彰を受けました！

文部科学省では、学校給食の普及と充実を図るため、その実施に関し、優秀な成果をあげた学校及び共同調理場を「学校給食優良学校等」として、個人及び団体を「学校給食功労者」として、毎年表彰しています。このたび、次の市立小学校2校が「学校給食優良学校」として文部科学大臣表彰を受けました。

(なお、今年度は、全国で本市の2校を含む12校が「学校給食優良学校」の表彰を受けています。)

横浜市立大岡小学校

(横浜市南区大橋町3-49)



大岡小学校は、生活科、総合的な学習の時間を中心に、授業の在り方等の研究に取り組みながら、地域や各関係機関と連携し、様々な食に関する学習や体験を取り入れています。また「咀嚼嚥下教育プロジェクト」として、そしゃくえんげ咀嚼ことと健康とのつながりに着目した指導を給食時間等に行うなど、児童自身が自分の健康について考える機会となる学習を推進しました。

横浜市立間門小学校

(横浜市中区本牧間門29-1)



間門小学校は、健康教育を学校経営の柱にし、「すこやか学習」と題して教科横断的な学習を展開するなど、学校全体で児童が自ら自分の健康について考えていける環境づくりに取り組んでいます。また地域の生産者とのかかわりも深く、地場産の食材や児童と地域の店舗で開発したメニューなどを取り入れた特色のある学校給食を実施しています。

例年、文部科学省等が主催する「全国学校給食研究協議大会」で表彰式が行われておりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症対策の関係で、表彰式が実施されないため、12月22日(大岡小学校)及び1月13日(間門小学校)に、教育長より表彰状の授与を行いました。

【参考】次のホームページに今年度の被表彰者一覧等が掲載されています。

○文部科学省ホームページ「令和3年度学校給食表彰について」

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2020/1421969_00002.htm

お問合せ先

教育委員会事務局健康教育・食育課担当課長

木村 直弘 Tel 045-671-3234